

会場のもよおし



11日(土) 13:00~

・「コカリナ」演奏(品川コカリナアンサンブル) ギター伴奏嶋田昭次
コカリナは自然の木で作られた楽器です。手のひらにのるこの小さな笛が「小鳥たちも人間も仲間だよ」と呼んでいるようです。コカリナの温かい音色が「平和の響き」となっていけたらと思っています。石巻の被災松(樹齢80年)でつくられたコカリナの音色も聞いてください。

演目: 森の水車 青い空は 海 浜辺の歌 芭蕉布 ふるさと

・朗読構成 福島をテーマに「忘れない」朗読集団「風」

昨年の大震災に続く原発事故により、福島県の多くの人たちがそれぞれに深い苦悩を抱えました。事故直後の状況を描いた中学生の作文、その後『キッズボイス』に寄せられた福島県の子もたちの手紙、郡山市から東京に避難された星ひかりさんの詩を朗読します。福島の人たちのことを「わすれないよ」という思いと、原発そのものの恐ろしさを「忘れてはいけない」という思いを込めて。

・戦争を知らない世代からの発言

今まで、体験者の証言を聞いてきましたが、体験していない世代が、「戦争をする国にさせないために 今考えていること」を発言してもらいます。一緒に考え合ひましょう。

12日(日) 13:00~

・お話「チェルノブイリと福島」安部愼三さん(原発問題住民運動全国センター東京事務局長)
フクシマとチェルノブイリの今を比べながら原発事故の恐ろしさを考えます。

・三線(さんしん)演奏 照屋三線倶楽部

東大井で照屋正寛先生指導の下、毎週水曜日の夜唄三線のお稽古をしている倶楽部です。沖縄芸能を通して沖縄の歴史・平和の心も学んでいます。

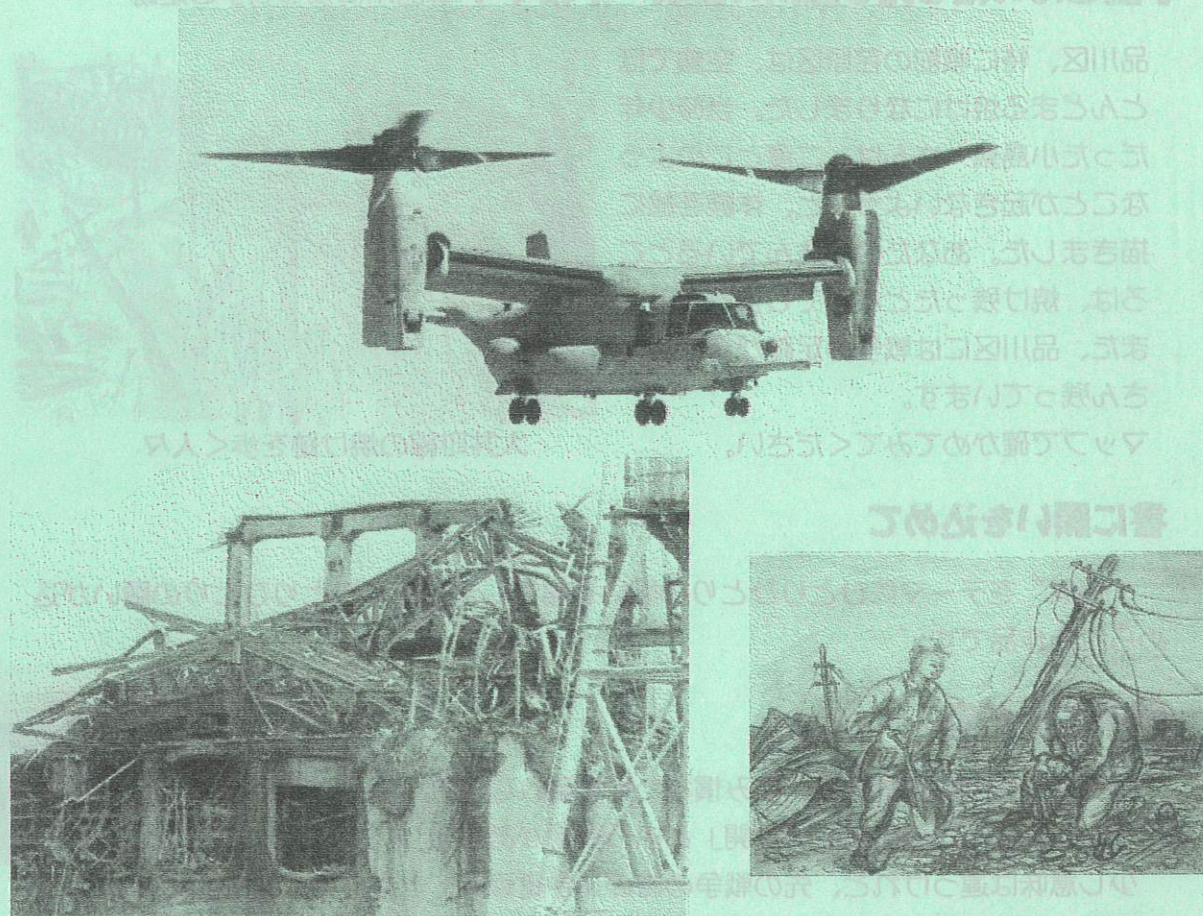
募金のお願

私たちの「しながわ平和のための戦争展」は個人参加の実行委員会が賛同する皆様からの事前のまたは会場での募金をもとに毎年開催しております。区民ギャラリーの会場は1週間単位で高額です。今回は、会場募金の一部は福島への支援としたいと考え15万円の目標を立てております。お帰りには、ぜひ、一言感想と募金をよろしくお願ひします。

しながわ 2012年 第29回

平和のための戦争展

戦争をする国にさせないために 今私たちは



とき 8月9日(木)~12日(日)

10時~19時30分(15日は17時まで)

ところ 品川区民ギャラリー(イトーヨーカドー大井町店8階)

京浜東北線・大井町線 大井町下車 徒歩1分

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

連絡先 03-5742-7563(西條明子) 03-3727-8382(扇谷道子)

第29回平和のための戦争展開催にあたって

1984年（昭和59年）手さぐりで始めた「しながわ平和のための戦争展」は、今年で29回目を迎えました。昨年3.11の「原発」事故から1年半。「原発は原爆とは違うものだと思わされて来ていた」ことが明らかになってきました。本国でも反対運動が起きているオスプレイの強引な配備には、多くの怒りの声が上がっています。「戦争をする国にしないために」みなさまとともに平和を守る人々の輪を広げることの重要性が増していると考えています。

2012.8. しながわ平和のための戦争展実行委員会

小島さんの絵で見る品川の空襲 平和マップ品川に残る戦争の足跡

品川区、特に戦前の荏原区は、空襲でほとんどまる焼けになりました。当時少年だった小島義一さんは、二度とこのようなことが起きないようにと、体験を絵に描きました。あなたの今住んでいるところは、焼け残ったところでしょうか。また、品川区には戦争の足跡がまだまだたくさん残っています。

マップで確かめてみてください。



大井町線の焼け跡を歩く人々

書に願いを込めて

“復興”をテーマにひとりひとりの思いを書にしました。ひとりひとりの願いが込められた作品です。

戦争と子ども

福島第一原発の事故の後、住み慣れた地を離れなければならなかった人たちの記事に「疎開」という表現がありました。少し意味は違うけれど、先の戦争の時の「学童疎開」と共通することは、いつこの状態が終わるかわからないということです。今年も、当時の子どもたちに想いを馳せてみませんか？



集団学童疎開を人形で

実物が語る戦争

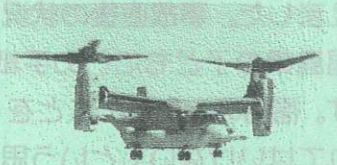
戦争中使われた品物を展示します。兵隊さんに送る慰問袋、千人針。ゲートル、当時の写真、戦争中の地図、遊び道具、などなど。実物から戦争のことを語り継ぐきっかけにしてほしいと思っています。分からないものがあったら、会場の人に声をかけて聞いてください。

ヒロシマ・ナガサキ・ビキニそしてチェルノブイリ・フクシマ

原爆は核兵器、でも、「原発は平和利用で安全」という作られた神話が崩れて1年半。ヒロシマ・ナガサキの原爆の被害で隠されてきた黒い雨の実態、内部被曝。ビキニ水爆実験と第五福竜丸の被害。チェルノブイリ原発事故と内部被曝の恐ろしさを伝える子どもたち。核軍拡競争の中でアメリカの戦略に基づいて進められてきた日本の原発。その利益共同体とメディアの果たした役割。そして、放射能に怯えながら、それでも、友達や家族のことを真剣に考えている子どもたち、家族。知らぬ間に、原子力基本法が改悪されています。核の被害をこれ以上広げず、未来に負の遺産を残さないために共に考えましょう。

沖縄本土復帰40年 沖縄は今一目で見る沖縄県とオスプレイ

基地がある故に命と暮らしを脅かされ続ける日本。沖縄県そして神奈川県。日本における米兵犯罪は世界で類を見ないほどの多さです。性犯罪の餌食になった最年少は、1歳に満たない赤ちゃんでした。しかし、米兵は、日米安保条約の下日本で裁かれることはありませんでした。



そして今、欠陥機オスプレイがアメリカから押し付けられようとしています。オスプレイの飛行ルートは、ほぼ日本全土となります。飛行を許してはなりません。



8月10日(金)夜 きゅりあんにて特別企画

8月10日(金)

18:00 開場 18:30~20:00

会場：きゅりあん 5階 第3講習室

講演：立正大学教授金子勝さん

(憲法学の先生です)

「日米安保条約と沖縄

そして日本国憲法第9条」

資料代：300円

今、オスプレイの持ち込みに日本中が怒っています。安保条約廃棄が焦点となっている中、時宜にかなう話をわかりやすく語ってくれます。いつも、豊富な資料で、説得力のある話をしてくださいます。